

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 2 月 6 日 (2020.2.6)

【公表番号】特表 2019-504877 (P2019-504877A)

【公表日】平成 31 年 2 月 21 日 (2019.2.21)

【年通号数】公開・登録公報 2019-007

【出願番号】特願 2018-553042 (P2018-553042)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/06 (2006.01)

A 6 1 P 3/00 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/08 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

A 6 1 P 11/06 (2006.01)

A 6 1 P 1/04 (2006.01)

A 6 1 P 7/00 (2006.01)

A 6 1 P 3/06 (2006.01)

A 6 1 P 19/06 (2006.01)

A 6 1 P 5/00 (2006.01)

A 6 1 P 7/06 (2006.01)

A 6 1 P 7/04 (2006.01)

A 6 1 K 47/59 (2017.01)

A 6 1 K 47/60 (2017.01)

A 6 1 K 47/69 (2017.01)

A 6 1 K 47/32 (2006.01)

A 6 1 K 47/34 (2017.01)

A 6 1 K 47/02 (2006.01)

A 6 1 K 9/10 (2006.01)

A 6 1 K 9/14 (2006.01)

C 1 2 N 11/06 (2006.01)

C 1 2 N 11/08 (2020.01)

C 1 2 N 11/04 (2006.01)

C 0 7 K 14/47 (2006.01)

C 1 2 N 5/0783 (2010.01)

【 F I 】

A 6 1 K 39/00 Z N A G

A 6 1 P 37/06

A 6 1 P 3/00

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 37/08

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 3/10

A 6 1 P 11/06

A 6 1 P 1/04

A 6 1 P 7/00

A 6 1 P 3/06

A 6 1 P 19/06

A 6 1 P 5/00
A 6 1 P 7/06
A 6 1 P 7/04
A 6 1 K 47/59
A 6 1 K 47/60
A 6 1 K 47/69
A 6 1 K 47/32
A 6 1 K 47/34
A 6 1 K 47/02
A 6 1 K 9/10
A 6 1 K 9/14
C 1 2 N 11/06
C 1 2 N 11/08
C 1 2 N 11/04
C 0 7 K 14/47
C 1 2 N 5/0783

【手続補正書】

【提出日】令和1年12月20日(2019.12.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

負のゼータ電位を有する担体粒子に共有結合した 1 又は複数の抗原を含む組成物であって、前記 1 又は複数の抗原が前記粒子中に封入されている、組成物。

【請求項 2】

前記 1 又は複数の抗原が、前記担体粒子の内部表面に共有結合している、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記粒子のゼータ電位が約 - 1 0 0 m V 未満である、請求項 1 又は 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記粒子が約 5 0 : 5 0、8 0 : 2 0 から約 1 0 0 : 0 のモル比を有するポリマー又はコポリマーを含む、請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 5】

前記粒子が、ポリスチレン粒子、カルボキシル化ポリスチレン粒子、P L U R O N I C (登録商標)安定化ポリプロピレンスルフィド粒子、ボロキサマー安定化担体粒子、又はポリ(乳酸 - c o - グリコール酸)粒子を含む、請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 6】

前記粒子が約 0 . 1 μ m から約 1 0 μ m の間の平均直径を有する、請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 7】

前記 1 又は複数の抗原が、自己免疫抗原、対象に移植される組織上に発現される抗原、酵素置換療法のための酵素、タンパク質療法、又はアレルギーを含む、請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 8】

前記 1 又は複数の抗原が、前記担体粒子に直接的に共有結合している、請求項 1 から 7

のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 9】

対象において抗原特異的寛容を誘導する方法に使用するための、負のゼータ電位を有する担体粒子に共有結合した 1 又は複数の抗原を含む有効量の組成物であって、前記 1 又は複数の抗原が前記粒子中に封入されている、組成物。

【請求項 10】

前記疾患又は状態が、自己免疫疾患、リソソーム蓄積症、酵素欠損、炎症性疾患、アレルギー、移植拒絶、及び高度免疫応答からなる群から選択される、請求項 9 に記載の組成物。

【請求項 11】

前記担体粒子が、ポリスチレン粒子、カルボキシル化ポリスチレン粒子、PLURONIC（登録商標）安定化ポリプロピレンスルフィド粒子、ポロキサマー安定化担体粒子、又はポリ（乳酸 - co - グリコール酸）粒子を含む、請求項 9 又は 10 に記載の組成物。

【請求項 12】

当該組成物が静脈内投与される、請求項 9 から 11 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 13】

調節性 T 細胞を誘導する方法であって、前記 T 細胞を、請求項 1 に記載の組成物の有効量を用いて処理することを含む、方法に使用され、粒径が 80 nm より大きい、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 14】

負のゼータ電位を有する寛容化免疫改変粒子（TIMP）の調製のための方法であって、

a) 1 又は複数の担体ポリマーを、1 又は複数の抗原と共有結合で連結して、担体ポリマー - 抗原コンジュゲートを形成することと、

b) 前記担体ポリマー - 抗原コンジュゲートを、TIMP を形成するのに有効な条件下で溶液と接触させることと、

を含み、

負のゼータ電位を有する前記 TIMP が形成され、前記 1 又は複数の抗原が前記 TIMP 中に封入される、

方法。

【請求項 15】

前記粒子が、ポリスチレン粒子、カルボキシル化ポリスチレン粒子、PLURONIC（登録商標）安定化ポリプロピレンスルフィド粒子、ポロキサマー安定化担体粒子、又はポリ（乳酸 - co - グリコール酸）粒子を含む、請求項 14 に記載の方法。

【請求項 16】

前記担体ポリマーが、共重合によって形成される、請求項 14 又は 15 に記載の方法。